

## 別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) ENEOS株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒100-8162 東京都千代田区大手町一丁目1番2号	
本票作成	部署名：カーボンニュートラル戦略部カーボンニュートラル企画グループ				
主たる業種	分類コード	17	業種名：石油製品・石炭製品製造業		
事業の概要	石油精製業（水島製油所A工場，B工場）				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	水島製油所		倉敷市潮通二丁目1番地	
	②	水島製油所青葉クラブ		倉敷市水島青葉町3番	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(令和3年度)	(令和5)年度排出量	目標年度(令和6年度)
	4,962,631 t CO <sub>2</sub>	4,523,173 t CO <sub>2</sub>	4,962,631 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和5)年度排出量
	①	水島製油所	4,523,089 t CO <sub>2</sub>
	②	水島製油所青葉クラブ	84 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間： 令和4年度 ～ 令和6年度 (3箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(5)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△5.0 %	3.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 常圧蒸留装置換算通油量	原単位当たり排出量		
		基準年度	(5)年度	目標年度
		27.219 t CO <sub>2</sub> /(千KL)	28.568 t CO <sub>2</sub> /(千KL)	26.402 t CO <sub>2</sub> /(千KL)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和5年度)	達成率等
	石油精製業	0.876 以下	0.948	92.4%

## 【削減状況の自己評価】

定修実施にともなう稼働の低下や製油所ガス、石油コークスの排出係数変更により、目標対比で原単位が悪化した。  
省エネ改造工事実施および省エネ推進活動の積み上げにより、今後も原単位の良化に努めていきたい。

**【推進体制】**

「エネルギー管理に関する要領」を定め、改正省エネ法上のエネルギー管理統括者を中心とした管理体制を定め、全事業所のエネルギーならびにCO2削減目標達成に向けた活動を推進している。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
水島製油所	(令和5年度実施分)  (今後実施予定分) ・R-KEROパイプライン送液によるKERO-HDS集約化(省エネ・経費削減) ・B工場水素回収装置(3HU)水素分離膜更新による省エネ ・PLAT装置パキノックス熱交増強 ・パラキシレン製造装置へのLPIプロセス導入

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	有	自治体や森林公社等と連携した森林吸収などのJ-クレジット創出を推進している。

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**